

鉄道利用に関する動向調査

— 交通経済 / 環境対策 —

Survey of Public Railway Use — Economics of Transportation, Green Action of Railway Company —

概要

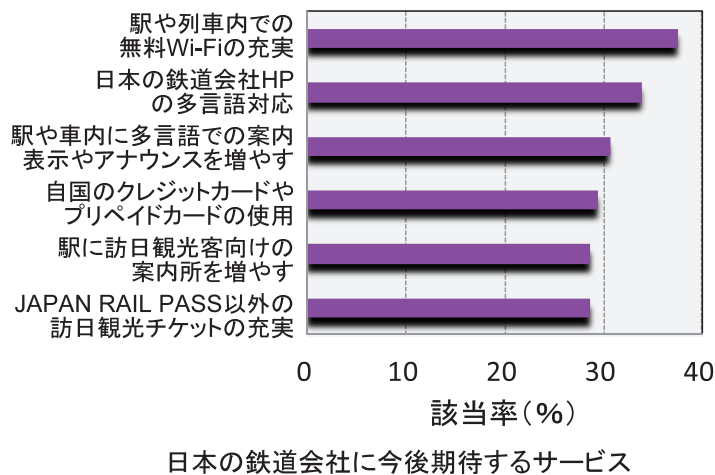
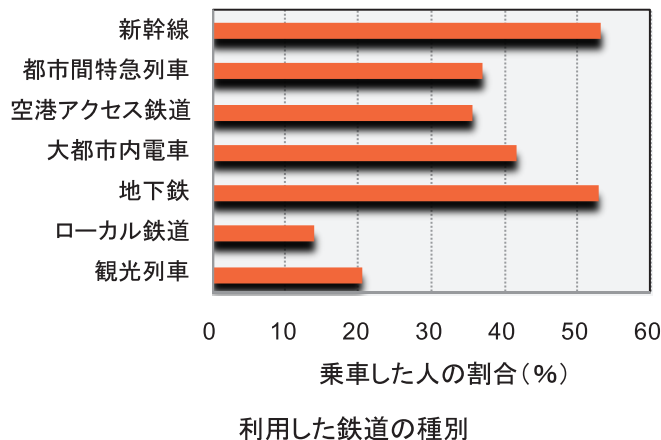
鉄道を取り巻く社会情勢の把握、および鉄道の将来像や解決すべき課題の探究を目的とした調査の一環として、交通経済と環境対策に関する調査を実施しました。

■ 訪日外国人の鉄道利用

- 訪日客数が多い3つの国・地域（中国・韓国・台湾）を対象に、日本における鉄道利用状況について、アンケート調査を実施しました。
- 直近の来日時に利用した鉄道の種別を尋ねたところ、新幹線や地下鉄の利用者は半数を超えるという結果となりました。
- 日本の鉄道会社に今後期待するサービスについては、駅や列車内での無料Wi-Fiの充実が最も多い結果でした。

■ 地球温暖化対策

- 鉄道事業者の地球温暖化対策の動向を把握するため、大手各社の環境報告書記載の施策を調査しました。
- 高効率機器の導入に関する施策は多数の項目が挙げられていた一方、運用方法の工夫およびその他の記載は少数でした。



鉄道事業者の地球温暖化対策の例

カテゴリー	事例
運用方法の工夫	扉閉による車内保温、閑散時の輸送力調整 ディーゼル車利用・オフィスPC活用による電力ピークカット、公共交通利用呼びかけ
高効率機器の導入	車両軽量化、LED化（車両、駅、信号） 省電力モーター、VVVF or 回生ブレーキ 駅トイレ節水、地上設備電力貯蔵 自然エネルギー発電、蓄電車の開発 地中熱ヒートポンプによる駅省エネ カーボンニュートラル施設、上下一括き電
その他	屋上緑化、鉄道林の整備 除草用家畜の活用、自然光採光

■訪日外国人の鉄道利用

- 本調査は2015年12月に実施されたもので、訪日客数上位3つの国・地域（中国・韓国・台湾で、訪日客全体の64%）の方から、それぞれ309票（計927票）の回答を得ました。
- 新幹線利用者には、その印象を尋ねたところ、どの項目でも良い評価が得られ、特に「時間に正確」が最も評価が高く、続いて「速度が速い」「安全・安心」が高い結果となりました。
- 鉄道の運賃や料金の支払方法を尋ねたところ、鉄道用ICカードの利用者は訪日回数1回目の方で7%程度ですが、訪日回数や滞在日数が多いほど利用者の割合も高い結果となりました。

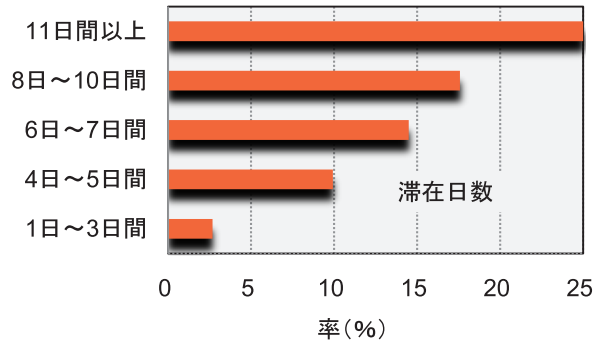
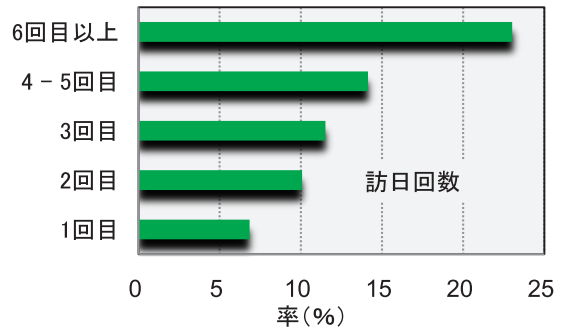
日本の新幹線の印象(5段階評価の平均値)

順位	印象	評価*
1	時間に正確	4.62
2	速度が速い	4.57
3	安全・安心	4.44
4	乗り心地がよい	4.38
5	本数が多い	4.33
6	先端技術を採用	4.33
7	車両デザインがよい	4.31
8	車内サービスがよい	4.31
9	訪日客でも安心乗車	4.30
10	切符を購入しやすい	4.19
11	駅の乗車案内がわかりやすい	4.06

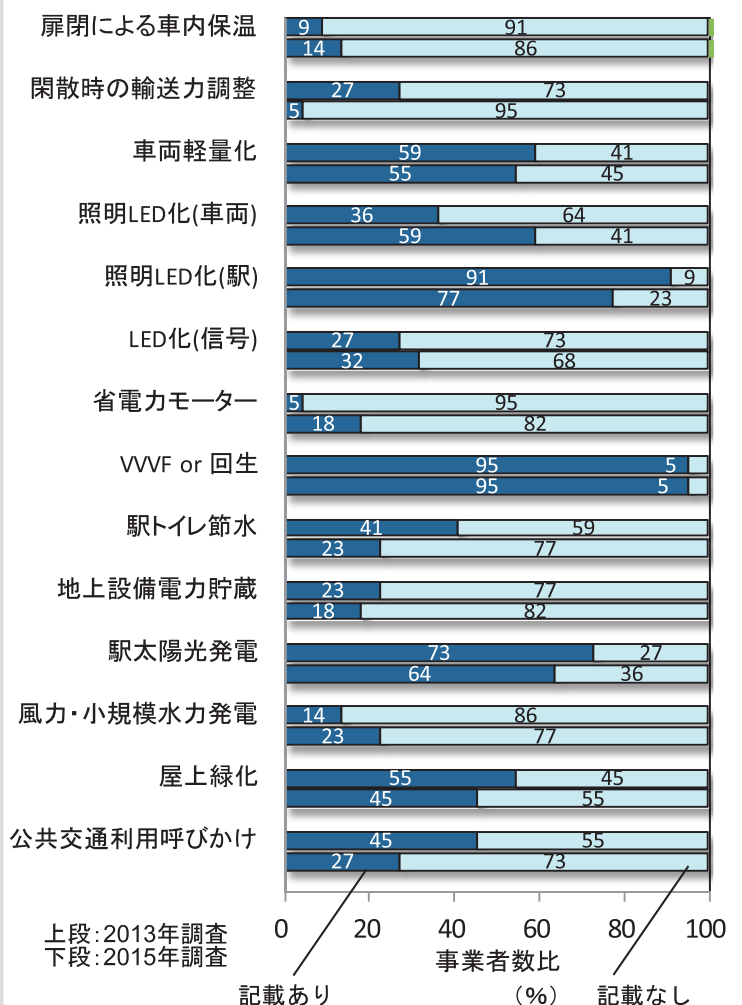
* 5点=とてもそう思う、4点=ややそう思う
3点=どちらとも言えない
2点=あまりそう思わない、1点=全くそう思わない

■地球温暖化対策

- 効率機器の導入に関する施策は多数挙げられており、なかでもVVVFと回生ブレーキは殆どの会社で記載されていました。2年前の調査と比較し大きな差はありませんでしたが、閑散時輸送力調整や普及が進んだ太陽光発電が若干減った一方、駅以外の照明LED化等がやや増える結果となりました。



鉄道用ICカードを利用した方の割合



鉄道事業者の環境報告書記載の施策